

凡 例

1 本目録は、農業生物研究所所管の大原農書文庫と鹿田分館所管の古医書集成を収録した。

2 分類・排列

- 分類はNDC 7版によった。内容に応じて大・中・小の分類に展開した。
- 排列は、大原農書文庫の場合は分類項目ごとに書名のABC順、古医書集成の場合は分類項目ごとに書名の五十音順とし、同一書名の場合は、著者のABC順(あるいは五十音順)、次に出版年次の順に排列した。

3 目録の記載

(1) 形式

標 題 (書名)	請求記号
卷数	
著者	
刊本・写本の別 作成年次 (出版年次) 蔵版者 出版者 出版地	
形態 大きさ 冊数	
注記	

(2) 標 題 (書名)

- 標題は、原則として内題を採用した。ただし、内題を欠く場合、もしくは内題によるよりも外題・題簽による方が、標題として適切な場合は、外題・題簽を標題に定めた。
- 標題に用いた内題と、外題・題簽とが違ふ場合は、外題・題簽を〔外〕として注記欄に示した。
- 外題・題簽を標題に採用した場合、内題が違つていれば〔内〕として注記欄に示した。
- 標題を全く欠く場合は、内容にふさわしい仮題を与え、〔 〕で括つて区別した。
- 標題とは別に、別題の見られる場合は、〔別〕として注記欄に示した。
- 合綴本の標題は、〔合〕として注記欄に示した。附録のそれは〔附〕として同様に記した。

(3) 卷数・冊数

- 卷数は、原則として全体卷数と卷数構成を記した。
- 欠巻のある場合は、形態欄に現存する冊数を示し、さらに(欠○巻○冊)、あるいは(存○巻○冊)を並記した。
- 欠巻の多い零本は、欠巻の表示をせず、標題に続いて残存の巻を示した。

(4) 著 者

- 著者名は、原則として、原資料の記載に従つた。名前の記載がない場合でも、著者が判明して

いるものは、それを記した。

- 著者が複数の場合は、一人を示して「等」を付した。
- 著者に準ずる人には、原本の記載に従って、撰・校・輯・編・訳・画・書などを付記した。

(5) 筆写及び出版事項

- 写本は、「写」と記し、原則として筆写年次と筆者した人を記した。不明の場合は省略した。
- 刊本は「刊」と記し、刊行年次と蔵版者、出版者を記した。古医書集成の刊本は出版地を記載した。
- 推定年次は〈 〉を付し、疑問が残る場合は〈…カ〉を付した。
- 刊行年次が2年以上にわたる場合は、「～」で示した。
- 刊行成立年次の不明のものは、序・跋の記載によって、注記欄に〔序〕〔跋〕としてその年次を記した。
- 蔵版者は「蔵」を付記した。
- 出版者が複数の場合は、原則として、最後に表示されている方を採った。

(6) 形 態

- 和装本：和
- 和装本の横本：和横
- 仮綴じ：仮
- 仮綴じの横本：仮横
- 漢籍は原則として形態を表示しない
- 折 本：折
- 疊 物：疊
- 一枚物：サイズ（タテ×ヨコ）を表記
- 洋装本：洋

(7) 大 き さ

- タテ25cm以上：大
- タテ20cm 　　：中
- タテ18cm以下：小

4 目録の記載（洋書）

- 『AACR』（英米日録規則）によった。

5 表 記

- 漢字は原則として新字体を用いたが、固有名詞のほか若干のものについて、もとの表記を用いたものもある。
- 変体がなは原則として現行のかなに改めた。
- 適宜、読点・並列点を付した。

6 書名索引

- 巻末に書名索引(五十音順)を付した。書名は標題及び注記欄に記した書名についてのものである。